

言霊の究極奥義

エンペラーコード

—人類の帝王学—

～究極の宇宙創造原理「十種神宝」の教えを伝授する～

～プレ講座 壱の巻(短縮版)～ 激変する世界と日本。生き残るのはだれか？

柳田 皆さんこんにちは。エンペラーコード、プロデューサー兼ナビゲーターの錦織圭です。間違えました。柳田厚志です。

南 皆さんこんにちは。アシスタントの南恭子です。よろしくお願いいたします。

柳田 南さん、よろしくお願いします。

南 お願いします。

柳田 錦織じゃないですよ。さあ始まりましたけれども、われわれのお隣には、若干、肩が映ってますが。どなたでしょうか。

南 大野先生にお越しいただいています。肩しか映ってないんですが、大野さん、確かにいらっしゃるので、ちょっとだけ手を振っていただいたりしてもいいですか。

大野 これ、どっちの手を振れば。こっちかな。

柳田 大野さん、よろしくお願いします。

南 よろしくお願いいたします。

大野 よろしくお願ひします。

柳田 ということで、相変わらず大野さんもお健在ということで。大野さんですね、毎回ちょっとお伝えさせていただくんですが、非常に要職に就かれているということで、インターネットのような、このような形でですね、どなたでも見られるものではちょっとお顔を出してないということをご了承いただきたいと思います。

で、早速始まりましたけれども、今回、エンペラーコードのですね、プレ講座ということになります。

言霊の究極奥義

エンペラーコード

—人類の帝王学—

～究極の宇宙創造原理「十種神宝」の教えを伝授する～

そして、こちらは 2019 年の春から夏にかけてですね、実際に開催させていただきました。令和に変わるタイミングで開催させていただいたんですが、大変な大反響。

南 でしたね。

柳田 いただきました。もう私のプロデュース、ナビゲート人生でも錦織圭って間違ってしまうくらい、すごい反響だったですね。

南 ですね。

柳田 で、今回ですね、改めて、たくさんのリクエストいただきましたので、そのプレ講座、ぜひ多くの方にご覧いただきたいと思います。そして、その先にはですね、本講座ということで、実際に令和元年に開催した本講座も、本当にすごい講座になりましたけれども、こちらのほうのご案内もさせていただきますと思います。

ってということで改めて、われわれ、このメンバーでですね、エンペラーコード修了を記念して、収録をまたさせていただきたいなと思うんですが、また新たな気持ちでよろしくお願いします。

南 よろしく願いいたします。

柳田 結構ね、南さん人気も前回ありましたからね。

南 ありがとうございます。

柳田 ということでいってみたいんですけども、こちらですね。お願いします。

南 言霊の究極奥義、エンペラーコード、人類の帝王学。究極の宇宙創造原理、「十種神宝」の教えを伝授する。

柳田 ということで、すごい。

南 壮大なテーマです。

エンペラーコード

—人類の帝王学—

～究極の宇宙創造原理「十種神宝」の教えを伝授する～

柳田 壮大なテーマですけども、こちらをね、お届けさせていただきたいんですが、大野さんにちょっと聞いてみたいんですが、このテーマ、ものすごいテーマですけども、いかがですかね。

大野 そうですね。テーマが広すぎて現実はどう応用するのか、逆に分かりにくい面もあるかと思いますが、基本的には言霊といますかね、言霊(ことだま)の使い方を知ること、自分の人生でもそうですし、もっと言うと、広く自分の関わる人々とかですね、そういった方々の人生すら変えてしまう。また、現実創造を可能とする言霊の教えっていうものが、このエンペラーコードに入っていると。そういう見方でいいかなと思うんですね。

柳田 もう初めてのの方は、コトダマじゃなくてゲンレイなの？とか。

南 そうですね。

柳田 いろんな疑問あると思うんですが、これ、ご覧になると解消されると思うんですが、まずエンペラーコードっていう名前なんですけれども、まさに天皇のコードといますか、という名前ですけども、これはどういうことなんですかね。

大野 もともと天皇の世界と一般の人々の世界っていうのは完全に階層が違うっていうんですかね。いわゆる、私たちの世界でやっていることというのが、1個上の階層から見ると全部お見通しであったり、あるいは、私たちが平和に暮らすことができるのも、その上の階層から常にある働きかけがあつてですね、日本も今平和にやっていますし、一応、世界の中でも豊かな国ってことでできるということがありまして、本当に、普段、私たちが知っている階層ではない、上の階層の言葉が存在してですね、そこに存在するものがエンペラーコードでもあるということが言えると思うんですね。

柳田 南さん、どうですか。

南 もうね、一般人のわれわれには通常、手の届かない話ですよ。

柳田 今回、令和ということになってですね、多くの方が改めて皇室とか、天皇とか、そういったところに、日本の歴史のすごさとか、そういったところにも興味ある方もたくさんいらっしゃると思うんですが、これ、エンペラーコード、そして人生の帝王学と言っているとおり、全ての、われわれの、一般の人たちも含めた帝王学ということで理解していいんですかね。

エンペラーコード

—人類の帝王学—

～究極の宇宙創造原理「十種神宝」の教を伝授する～

大野 そうなんです。これまで、このエンペラーコードという階層の上の教えはですね、一般の世界には降りてこなかったんですけども、今回、この時代ってということもありますし、逆に言うと、先の見えない不安な時代っていうところも含めましてですね、そういった階層の上の、また、実現可能なですね、本当に叡智が詰まった教えだからこそ、この現代に蘇らせるという目的で、この時期に公開しているという側面があります。

柳田 そうしないともう、地球とか人類がもたないという部分もあったかと思うんですけども、その辺りの認識はまだ変わらずということですかね。

大野 それは逆に年々ですね、そういった危機感といいますか、高まっているということもありますし、そういった状況と人々の不安っていうものはリンクしますので、不安が、まさにみんなが不安になってくると、実は自然災害も起きやすいっていう、そういったリンクのデータもあるぐらいなんです。ですから、より皆さんに安らかな気持ちで、かつ、ただ安らかではなく有意義な人生を送っていただきたいということも含めて、こういったお話が出てきているということですね。

柳田 なるほどですね。そして、サブタイトルでついていますが、究極の宇宙創造原理、十種神宝の教を伝授するということで、これも当然、エンペラーコードにつながるものだと思うんですが、今までは決して公開されなかった教えであり、最上級といいますか、最も上の階層の教えをついに公開していただけるということだと思うんですけども。

大野 もともと、一般の方が知る世界としてですね、神道では三種の神器っていうことがありますけども、十種神宝というものはですね、この三種の神器のもとにある神宝、神の宝っていうことなんです。ですから、本当に三種の神器もすごい世界なんですけども、その奥にあるものは何かっていうものが、全てこの十種神宝に含まれているということでして、これは本当に今まで、歴史的にもですね、中身が公開されたことはないっていう、そういうものでもありますね。

柳田 南さん。南さん、もともとそういう神道とか興味おありということですけども、どうですか。

南 いやもう、そんな、普通だったら一般人が、そういう世界があるっていうことすら知らなかったわけじゃないですか。それを今の時代に、たまたまここで出会って知る機会が与えられたってすごいことですね。

柳田 すごいですよね。本当に。そして、なぜ大野さん、そして大野さんが所属している研究所がそれ

エンペラーコード

—人類の帝王学—

～究極の宇宙創造原理「十種神宝」の教えを伝授する～

ほどの教えを公開できるのかというところも、この後ちょっとね、初めての方もいらっしゃると思うのでご紹介していきたいというふうに思いますが、本当にすごい、日本人なら全員これ、興味があるテーマだと思うので、しっかりと最後まで受講いただきたいと思います。そして、早速ね、今回、壺の巻ということでやっていきますけれども、テーマこちらですね。

南 激変する世界と日本。生き残るのは誰か。

柳田 ということで、南さんが美しく読み上げていただきましたが、かなりの激しいテーマにはなっておりますけれども。

南 ですね。激変ですね。

柳田 激変。これ、プレ講座ということでお届けしますけれども、全4回ですね。プレ講座でご受講いただいて、これ、本当に毎回どの回もすごい内容になってましてですね、ぜひ、しっかりと学んでいただきたいなと思いますけれども、その1回目、今回にあたります。そして、本講座で、本当の意味でのエンペラーコードが公開されるということなんですが、その位置づけでは今回、第1回目ですね。早速見ていきたいなと思うんですが、こういったテーマを学ぶことになります。

南 真実の世界と、日本の情勢と歴史。サバイバル時代にあなたが生き残るためにすべきこと。日本に残されている真の帝王学とは。

柳田 ということで、大きく三つの見出しありますけれども、これ、大野さん、この後ね、皆さん、本編見ていただきますけれども、一言だけで言うとこれ、どうでしょうか。壺の巻に関しては。

大野 壺の巻に関しては、普通、一般的に私たちはいろんな情報をですね、テレビとか新聞とか、今はほとんどがネットですけども、そういったところから受け取りますけれども、そこで受け取る情報のほとんどがですね、間違いと言っては言い過ぎですけども、しょうもないっていうんですかね。いわゆる、本当のことを言わないような情報を受け取って、いわば、偽情報みたいなものをですね、日々掴まされているわけですね。世界の動きに関してもそうですし、いわゆるマスコミが言う現状というものもう完全に操作された後の情報を私たちに投げかけていますので、そういった嘘の情報というんですかね。間違えた情報を元にまた行動しますよね。私たちは。

柳田 そうですね。

エンペラーコード

—人類の帝王学—

～究極の宇宙創造原理「十種神宝」の教を伝授する～

大野 で、間違えた情報を元に行動すれば、間違えた結果しか生まれないのは当然なんですけども、意外とそこを皆さん、疑わないってことがありますので、本当はこういうふうになっていますよってことをこの壺の巻でお話をできればということによっておりますね。

柳田 楽しみですね。

南 ですね。

柳田 そして弐の巻、参の巻、四の巻という形で、どんどん、どんどん答えが明かされてくるわけなんですけど、早速見ていきたいなと思います。そして最初にですね、まず大野さん、そして大野さんが所属されている研究所ですね。についてちょっとご紹介をしていきたいと思います。

南 では、大野さん、ご紹介します。大野靖志さん。一般社団法人白川学館理事、ラボラトリオ株式会社代表取締役。ユダヤ教を始め、世界各国の宗教と民間伝承を研究後、白川神道、言霊布斗麻邇の行を通じ、新たな世界観に目覚める。現在は、日本と米国に意識変容のためのデジタル技術を普及すべく、東京と山梨を拠点に、さまざまなプロジェクトに力を入れている。著書に『和の成功法則』、『願いを叶えるお清め CD ブック』などがあります。

柳田 ということで、本もたくさん出されていて、大手さんの出版社さんからも出ているのでご覧になった方もいらっしゃるかもしれませんが、この写真はなんですかね。チェーンソーで木を伐っている。

南 これ、大野さんですか。

大野 はい。

南 これ、何をされているんですか。

大野 家がですね、実は山奥にありまして、これ、薪を伐っているんですね。で、冬は結構寒いときはマイナス 15 度ぐらいまでいくので、暖炉というか薪ストーブを使っているんですが、そのための木をですね、伐って用意していないと、冬は凍死してしまうってことがあってですね、ある時期になると丸太を買ってきてですね、伐って、最後、斧で割ってってことで、その薪棚に積んで準備すると。今、すでにもう薪は使い始めていますけど。

エンペラーコード

—人類の帝王学—

～究極の宇宙創造原理「十種神宝」の教えを伝授する～

柳田 なるほどですね。

柳田 いらっしゃるということで。で、大野さんですね、われわれ、よく知っていますけれども、今回、皆さんに聞いていただけると、ものすごい深い叡智と。そして、それを分かりやすく皆さんにお伝えしてくれるんですけれども、所属するね、幾つかございますけれども、ちょっとそちらのほうも、ご紹介お願いします。

南 大野さんが所属するグループ、ご紹介いたします。一般社団法人白川学館。白川の継承者、七沢賢治を筆頭に天皇祭祀を司ってきた白川神道の教えを今に守ります。二つ目、neten 株式会社。意識変容のための最先端技術を研究開発。同社が開発した製品はシリコンバレーでも高評価を受けています。世界の国家機関、機密機関も訪れています。そしてラボラトリオ株式会社です。人類の意識進化のため、上代倭語から銀河恒星言語まで幅広い言語コードを開発。その応用範囲は宇宙規模にまたがります。

柳田 ということで、まさに古い古神道と言いますか、アナログから最先端の科学まで。

南 すごい。

柳田 全てを網羅しているというのが。われわれは研究所と言ってる、呼ばせていただいていますけれども、大野さん、所属されているグループになりますけれども、大野さん、すごいですよね。こちらのグループは本当に。

大野 今、ご紹介いただいたように、本当に、古い叡智と最先端のテクノロジーっていうのをですね、いかに融合できるかっていうことをテーマにしていまして、言い方を変えますと、アナログとデジタルをいかに交わせるかっていうことなんです。で、このアナログとデジタルのどちらがいいっていうことでもないんです。この両方のいいところを合わせて、両方の世界を突き抜けようっていうのが一応、大テーマというんですかね。で、また一番、人類の役に立つであろうというものがここに全部詰まっているので、それを表現形としてはデジタル技術で皆さんが使えるようにしていると、そういうことなわけですね。

柳田 それは、昔は天皇ただ1人の教えだったものとかもあると思うんですけれども、現代においてはわれわれ、一般の人たちもその教えをちゃんと受けて活用して、意識を進化させてより良い時代を作っていこうというようなところなんではないでしょうか。

エンペラーコード

—人類の帝王学—

～究極の宇宙創造原理「十種神宝」の教えを伝授する～

大野 そうです。結局、歴史的に見ても、最高の教えっていうものはですね、一般の世界には絶対に降りてこないんですね。あくまでも天皇、もしくは同じ階層のレベルに、ずっととどまっているというか、そこから漏れないようになっていまして、逆に、それが残されたことで、今の日本の体制も守られているんですけども、だんだん隠している場合でもなくなってきたということもあるわけですね。ですから、そうした叡智というものをですね、ただ言うだけですと、結構内容がすごく難しかったりですね、あるいは本当のことを隠すためにわざとその情報もいっぱい入れているんですよ。この世界っていうのは。

ですから、そこから本物だけを集めてきて、それで一般の社会に通用すると言いますかね、理解できる状態に落とし込んで、更にそれをデジタル装置に応用することで誰でも使えるようにすると。また、そうしないと意味がないというのが私たちの考えですので、ですから、最高の教えであっても誰かそういうね、特別な能力を持った人しか使えないっていうんではなくて、誰でも使えるようにするというのが一番文明の転換にですね、必要だってことでやっているわけですね。

柳田 どうですか。南さん。

南 この科学の進化によって私たち一般人もその恩恵に預かることができるっていうのは、本当にいい時代に生まれましたよね。

柳田 そうですよ。私も七沢先生とずっとお付き合いさせていただいて、常に公というか、みんなのことを考えていて、自分たちだけで技術をとかではなくてですね、広く公開して、それだけやっぱ一人一人が目覚めていくというか、意識、進化していかないと駄目な時代ということらしいんですけども、それを、今回の十種の神宝についてもですね、エンペラーコードについても、白川学館とありますけれども、白川神道の教えをずっと受け継がれてきた七沢先生から、その伝承者、継承者である七沢先生が今回、公開していいよということになったということですかね。

大野 もちろん、それがなければですね、勝手に公開できませんし、また、七沢先生もしかるべきところから許可といいますか、了解を得てやっているわけですね。

柳田 ということで、その辺りは今後の大野さんのお話を聞いていただくとですね、それ、ご理解いただけるんじゃないかなというふうに思います。

ということで、ここまでするんですが、これまでですね、ちょっとわれわれとしてもですね、実は、

エンペラーコード

—人類の帝王学—

～究極の宇宙創造原理「十種神宝」の教を伝授する～

この5年、6年、7年にわたってずっと、この研究所の叡智というものをですね、多くの方にお伝えしてきたんですけれども、累計7万人以上が参加し、というふうにあります。有料講座のほうでもですね、3000名くらいの方、ご参加いただいた講座があります。

2014年からずっとやってきてるわけなんですけれども、そして、令和に入り、ついにエンペラーコードというですね、最上級といいますか、ついに公開されたという形になります。それをですね、皆さんには今回、体験していただくということになっております。

ちょっとこちらをご覧いただきたいんですが、先ほど、大野さんの説明でもあったんですけれども、日本だけではなくて、アメリカ、シリコンバレーを通じて世界で、こういうアナログ、デジタルですね。普及されているということなんですけど、こちらは何なんでしょうか。

大野 ちょうど今、世界的にですね、人類の意識変容っていうものが必要だということで見直されていてまして、で、去年、一昨年くらいからですね、シリコンバレーのほうでそういった意識変容のための集まりっていうのがあるんですね。それがトランステックっていうものでして、このトランステックっていうのは意識変容のためのテクノロジーっていう意味の英語なんですけども、これが年々、参加者が増えてまして、また、これに協賛する大企業がですね、これまた年々増えています。で、ちょうど今年はですね、11月の中旬に私どもも社員、5、6名送り込んでですね、われわれが開発したデジタル装置を現地に持って行ってですね、数多くの世界中の方に体験いただいたっていうことがあったんですね。で、結局、なぜ今、アメリカでですね、このトランステックが流行ってるかっていうと、今まで、例えばいろんな瞑想法とかですね、盛んになって、Googleとか大手企業でも有名な、ありますよね。

柳田 マインドフルネスとか。

大野 取り入れられたものがありますけれども、彼らが気付き始めたことは、もうアナログで瞑想をやってもですね、進化が遅いんじゃないかっていうことなんです。どうしても、瞑想すると気持ちいいですけども、ある程度から先に行かないっていうことがありまして、それであれば、意識進化の装置を使って脳に刺激を与えて、短時間で進化というか、変化させてしまおうということで、その方面のテクノロジーを開発しようということでできたのが、トランステックという集まりで、ここに世界中からそういった開発をする会社が集まってですね、展示会の中で実際に来た人にいろいろ試してもらっているということがあるわけです。で、今回、11月に私ども行ってきてですね、結論から言いますと、本当にこれ、私の言葉で言うのも言いにくいんですけども、ダントツで1番でした。

エンペラーコード

—人類の帝王学—

～究極の宇宙創造原理「十種神宝」の教えを伝授する～

柳田 さすがですね。

大野 もう来た人、もう皆さんびっくりされて。で、なんでびっくりするかというと、今回、展示したのがハットロンという名前のですね、いわゆる 10 秒くらいで人間の脳をですね、悟りの状態に持っていく機械があるんですよ。で、それはいろんな会社が同じようなもの出していますけども、全然そういう状態に入らないんですよ。ところが、私どもの開発した装置は、誰でもその装置を、ちょっと上にかぶるんですけどね。やっていただきますと、だいたい 10 秒くらいで全く意識が変化するっていうことが体験できまして、それで、去年もそうだったんですが、今回はより大きな会社と一緒に組みたいっていうふうに言ってきてまして。

柳田 南さんでも変わりますか。

南 なんで私でもって。

大野 皆さん、必ず変わるんですね。

南 本当ですか。私でも？ ハットロンをかぶれば？

柳田 お酒好きが治るみたいな。

南 そこは治したいと思ってないのでいいです。

柳田 でも、このパロアルトっていうと、本当にシリコンバレーど真ん中というか、そういうところで、それは結構大きなカンファレンスになってる感じなんですかね。

大野 相当大きいですね。

柳田 その中でダントツと。

南 すごいですよね。

大野 ダントツっていうのは、本当、私がただ言っているだけではなくて、このトランステックの主催元ですね、トランステック研究所っていうところがあるんですね。で、そこの所長がですね、スタン

エンペラーコード

—人類の帝王学—

～究極の宇宙創造原理「十種神宝」の教えを伝授する～

フォードとかソフィア大学の教授をやっているんですけども、その方がわれわれに対して、あなた方はナンバーワンだって言うくらいだったってということなんですね。

柳田 なるほどですね。

南 すごい、でも手応えを感じてきたってことですよ。

柳田 すごいですね。それだけ時代、世界的にもこういったものが受け入れられるというか、皆さん、やっぱり同時に気付いてきてるんですかね。

大野 そうですね。海外の製品っていうのはテクノロジーばかり追求していて、古代の叡智っていうのは全く入ってないっていうか、反映されていないので、すごく薄っぺらなんですね。

柳田 なるほど。さあ、ということで、本当にすごい技術も、この後、公開もあるんですけど、ちょっとこちらの1枚、大野さんのほうから解説していただきたいんですが。

大野 これ、皆さんご存じの、マズローの欲求の5段階っていうものがありますが、これまでこの5段階目に来る自己実現っていうものを目指してですね、皆さん、頑張って仕事をしたり、自己実現っていうための本を買ったりですね、やってきたと思うんですが、先ほどのトランステックが目指すところは、もう自己実現っていう世界ではないんですよ。そこはもう十分やったからいいでしょうと。あるいは、十分やって失敗したからいいでしょうっていうことがあって、これから目指す世界は、自己実現ではなくて、自己超越ですよ。で、ここに入ると、これまでの欲求の世界は全部手に入るし、更にその上を目指すようになりますよってことで、そのためのテクノロジーっていう意味もあってですね、で、この資料っていうのは今、日本語になっていますけども、英語になって、向こうで実際に説明会もあったような内容の一部です。

柳田 なるほど。ここにあるように、テクノロジーとの融合という意味では、従来技術は二階層までで、そこからの変革技術に関してはそこから上、自己超越も含めたものがこれからの変革技術で実現できていくという。

大野 そうですね。そうしたいって多分、気持ちの現れもあるんですけども。

柳田 なるほど。

エンペラーコード

—人類の帝王学—

～究極の宇宙創造原理「十種神宝」の教えを伝授する～

大野 ですから、その変革のために必要なアナログの叡智っていうんですかね。で、これはもう、私どももですね、世界中のいろんな文献とか、それこそインドとかエジプトとかいろいろ探しましたが、まず残ってないんですよ。で、結局、残っていたのが、これが唯一というか、天皇の教えの中にですね、それがあって、更に言うと、その教えというものがかつて、古い時代にエジプトとかマヤにも伝播したっていうことまで分かったっていう、そういうことなんですね。

柳田 なるほど。そうすると、エンペラーコードというのも、今回のエンペラーコードもその教えを一部公開していただけると。

大野 ええ。それはその教えのまさに根幹となる部分に、十種神宝というものがあり、それが現代風に言いますとエンペラーコードということで、それを今回、公開しようということになってるわけです。

柳田 ありがとうございます。ということでね、改めてエンペラーコード、本講座を終えてですね、新たに撮らせていただきましたけれども、本当にこれ、すごいことになっていますので、ぜひ皆さん、楽しみに、ここから、壺の巻からですね、四の巻、そして本講座に向けてですね、ぜひ楽しく学んでいただきたいと思います。あまりにもですね、われわれも盛り上がりすぎて、大野さんがブレ講座と言えどもすごいいろいろ。

南 そうなんですよ。

柳田 教えていただいたので、どの講義もちよっと長いんです。なので、続きは、コメントいただいた方には完全版というのをを出していますのでご覧いただきたいんですが、まずはですね、先ほどお伝えした壺の巻の本題ですね。激変する世界情勢のところからお話を聞いていただきたいというふうに思います。それではどうぞ。

柳田：では早速、最初のテーマにいつてみたいと思います。

南：最初のテーマはこちらです。「激変する世界情勢」。

柳田：ということで、まずは世界を知ろうということなんですけれども、こちら、まず一つ目のテーマですね。

南：「沈みゆく地球、激変する世界、崩壊する資本主義」。ちょっと怖いですね。

エンペラーコード

—人類の帝王学—

～究極の宇宙創造原理「十種神宝」の教えを伝授する～

大野：このテーマに関してはですね、今、ネットでもいろんな人がこういった警告されていますので、特に詳しく言わなくてもいいのかなという点もあるんですけども。

資本主義っていうことでいうと、象徴的なのがですね、世界のトップの8人が全人類の富の半分を持っているっていう、そういう話があったですよ。これもですね、実はその発表の前年ですね、世界の62人が、だったんですね。それが8人にいつのまにか変わったという経緯もあるんですけども、つまり富がですね、極端なまでに偏っているっていうことなわけですね。

今現状、大体世界の富の大体82%はですね、全人口の1%が持っているって言われるんですね。ですから、1%の人が富の82%を持っているっていうことから、これは単純にいうと、ものすごい貧富の差が発生していますし、要は、どんどん上の人がですね、下から吸い上げる構造になっていて、それが上にいればですね、いいかもしれませんが、だんだん社会というものが不満、不安とか、また怒りですね。そういったものでだんだん満たされていっちゃうわけですね。

そうしますと、今のアメリカの状況もそうですけれども、だんだん社会体制変えていかないと、国そのものがもたないっていう、そういう状況にあるっていうことですよ。

なんでこれは、何ていうか、あちこちで言われていますけど、この資本主義が、ですからそういった富の偏在によってですね、極端なまでの。それで、ある限界までいくと完全にひっくり返るといって、潰れちゃうっていうのは、これは別に特殊なことではなくて、当たり前じゃないかなと思いますね。

柳田：やっぱりそういう、言葉にはないっていうか、富の偏在による貧富の差による、例えば怒りとか、憎しみとか、何て言うんですかね。そういった言葉にならない言葉みたいなものが、地球を覆うとまたよくないわけですかね。

大野：そうです。とりわけ私も研究しているのは、例えばGoogleのサーバーがありますよね。で、あれは年間に相当な数が壊れると聞いていますけども。実は機械の不具合で壊れているのがありますが、それだけではなくて言葉によって壊れているんですね。つまりネットで人の悪口を言ったりですね、そういう怒りとか悲しみもあるでしょうし。そういった感情的な言葉というのが、実は機械を壊すんですね。サーバーを壊したんですね。

エンペラーコード

—人類の帝王学—

～究極の宇宙創造原理「十種神宝」の教えを伝授する～

ですからそういった情報が今この瞬間もネットを通じて世界中を飛び交っていてですね、その言葉の数が、もうどれくらいあるのか想像つかないくらい飛び交って、世界を、言うなれば言葉で汚しているんですね。

ですからそれを変えなくてはいけないという。そうしないと、やはり限界までいくと、どうしても戦争とか、また自然災害というのもそうした言葉の流通に実は影響を受けるので、そういったことも起きる可能性があるというふうに考えるわけです。

(コメント特典の完全版をご覧ください)

柳田：そして次のテーマなんですけれども。

南：次のテーマは、「世界を動かしているのは一体誰か」。

大野：これは絶対分らないように出来ているんですけども。ただ歴史的な背景で見えていきますと、元々地球上にはいろんな国があって、で、それぞれの文化を持って、またそれぞれの言葉を持って、幸せにそれなりにやっていたわけですね。

ところがある時代から、どこを歩いてもマックがあるとかね。どこに行っても、ウォルマートはあれか、なんとなくそういう欧米のお店がいっぱいあるっていう。で、みんな決まった洋服を着て、ジーンズはいて、こういうスーツ着てっていう、画一化の歴史というかですね。要は土人からみんな西洋式のおんなじスタイルに変えられてしまったっていう、まず現実があるわけです。

それを一般的にはグローバリズムって言いますが、それはじゃあそのグローバリズムによって世界が幸せになったかという、先ほど言ったように貧困の問題、環境の問題、いろいろあってですね。本当に幸せなのは、そのトップの支配層だけというのが実態でして。

(コメント特典の完全版をご覧ください)

南：「世界的知性が警告する未来。1人1人が神を掴まないと滅びる」。

エンペラーコード

—人類の帝王学—

～究極の宇宙創造原理「十種神宝」の教えを伝授する～

大野：これはフランスの人類学者であり、社会学者であるジャック・アタリさんという方がいまして。この方昔からいろんな、未来予測っていうのをやっているんですけども。たまたまこの画面に出ている本ではないんですが、2006年に世界がこうなると予測した本がありまして。

それはちょっと日本語には翻訳されていないようなんですけども、一応その内容を言うと、2006年時点で言っていたことは、これから大麻が解禁になると。いま実際、アメリカも州ごとに合法化されたり、カナダもそうですね。そういった話ですとか、これからの例えば戦争というのは、電子兵器ですとかナノテクノロジーを使った兵器。また細菌兵器、こういったものが主流になるとかですね、いろんな予言されていて。私ども研究所もいろんなこういった類の方々の本読みますけど、かなりジャック・アタリさんというのはよく当たるっていうかですね。

柳田：名前の。

大野：そんな感じなんですけど。

柳田：今のは。

南：今のは笑っていいとこだったですか。

大野：私も予想しなかった、今。ただ、当たるんですよ。で、ただこの方も実は裏の世界の人じゃないかっていう話もあって、それを言っているだけっていう噂もあるんですけども。

ただ特筆すべきは、その2006年の本の中で、このままいきますと、大体2030年ぐらいに、いわゆる人類がもう危ういことになりますよと。そうならないために、どうあればいいかという、もうこれから1人1人が神を掴むというか、本当に失われた神という概念を掴むことで、世界は、あるいは人類は生き延びるのであるってことを言っているわけです。

(コメント特典の完全版をご覧ください)

柳田：女性がやっぱり活躍する時代ということ。それは日本でもね、兆候ありますけれども。じゃあ最後ですね、ズバリこれを聞きたいんですけども。

言霊の究極奥義

エンペラーコード

—人類の帝王学—

～究極の宇宙創造原理「十種神宝」の教えを伝授する～

南：気になりますね。「お金・仕事・戦争・生き方はどう変わる？」。

大野：やはり今の時代で皆さん気付かれていることは、1つにはやみくもにお金持っていてもしようがないなということです。つまり何百億とあっても使えるお金は決まっていますので、「足るを知る」って言葉がありますけども、足るを知るまでいけばいいんじゃないですか？ということ、当然あるわけですね。

ですけどいま「足るを知る」っていうレベルまでいってないのが実情かと思うんですけども。ただし、そのお金のものの見方が、昔のようにやみくもに稼げばいいとか、人を騙してでも稼げばいいっていうものからシフトしているっていうか…。

(コメント特典の完全版をご覧ください)

柳田：続いては日本ですね。

南：「日本人として絶対見知っておくべき、真実の日本」。

柳田：ということで、またちょっと細かく、いくつかの点を聞いていきたいんですけども。まずこちらです。

南：まずこちらです。「学校では教えない、マスコミも報じない、真の日本の歴史」。

柳田：こちら大野さん、どうでしょうか。

大野：ここは一番ちょっと重要なところでもあるんですけども、これも実際には今やはりネットの、社会の普及によって、この辺詳しく言ってくれる方もいます。ですからより詳しくっていうんであればまた、それぞれ皆さん見ていただきたいですけども。ただポイントで言うと、この日本っていう国はどういう方向に動いているかという、要は潰れる方向に動いているんですね。

つまり日本という国を滅ぼそうという意図が、これ大昔からあるわけです。で、実際どれぐらい前からあるかという、それこそもう 450 年くらい前という、フランシスコ・ザビエルが鉄砲を持って

エンペラーコード

—人類の帝王学—

～究極の宇宙創造原理「十種神宝」の教えを伝授する～

きた時代に、もう日本を潰して植民地にするっていう考えで来ているわけですね。また 150 年ぐらい前、明治維新もそうですし、第二次世界大戦後も、基本的に日本を潰さないと、世界の統一が出来ないというのが、支配者側の理屈なんですね。

そこで起きている問題というのが、特にこれは第二次大戦後ですけども、徹底的な自虐史観を植え付けるっていうことやったんですね。つまり我々日本人が、日本は何て悪い国だと、何て愚かな国だと思わせるように、あらゆる仕組みを作っていったわけですね。これ日教組と言いますか学校もそうですし、あとマスコミでもいろんな中国の問題、韓国の問題取り上げながら、結局日本がいかに悪いことをしてきたかということを一生涯懸命報じるわけですね。そうしますと学校でも教科書でそうやって習って、テレビでもそうやって聞いて育ちますと、やっぱり日本という国に、誇りを持てなくなってくるわけですよ。

(コメント特典の完全版をご覧ください)

柳田：ここは押さえていただきたいと思います。そして。

南：「神道とは何か」。

柳田：いきなりきましたけれども。

南：深いですね。

大野：やっぱりこれ、凄く大事なテーマでして。神道と言いますと、やはり皆さん神社とか、元旦とかお参り行かれると思いますけども、神社っていうイメージが強いと思うんですよ。で、じゃあ神社とは何ですか？というところにもなってくるんですが。

そもそもこの神道っていうのはですね、神社という形態を取らないんですよ。いわゆる近年の神道のことを言うのか、大昔の神道のことを言うのかで全く内容が異なりまして。

本来の神道というのは古神道と言いまして、弥生時代以前の、つまり縄文以前の神とつながる技を神道と呼んでいまして。で、弥生時代以降に大陸からいろんな文化が入ってきて、そっから鳥居の形も

言霊の究極奥義

エンペラーコード

—人類の帝王学—

～究極の宇宙創造原理「十種神宝」の教えを伝授する～

ややこうしなったような、おしゃれな形になって。で、一見それらしい神社がいっぱい出来ましたけど。元々は岩蔵とか、あと木とか森とかいろいろありますが、山とかですね。そういった自然信仰というのが神道であって、建物っていうのは、その後の中国の影響なんですよ。ですから建物をいくら拝んでも、私どもの世界で言うとあまり効果ないよっていう。

(コメント特典の完全版をご覧ください)

柳田：続いてはこちらです。

南：「日本人の知らない、本当の神道」。

大野：じゃあ本当の神道とはどういうものですかと言いますと、これが私どもやっている白川神道が正にそうとも言えるんですが、本来神道というのは、皆さんよくお願いに行ったり、拝みにいきますよね。そういう世界ではないんですよ。

つまり拝んだりお願いに行くので、神道が宗教のように見られてしまうんですけども、全然そういうもんじゃないんですよ。さらに言いますと、神道という言葉自体が明治時代以降の話なので、仏教とかいろいろあったので、整理するためにそういった名前を付けているだけで。

例えば白川神道というのは、

(コメント特典の完全版をご覧ください)

柳田：続いていきましょう。いよいよ確信に入っていきますけれども。

南：「天皇とは何か」。

エンペラーコード

—人類の帝王学—

～究極の宇宙創造原理「十種神宝」の教えを伝授する～

大野：この辺も非常にですね、一般的にはタブー含みというか、なかなか言い辛いんですけども、本来のということと言わせて頂きますと、まさにこの漢字がもうそのまま表しているっていうことになりまして、天の王ですよね。国の王じゃないんですよね。

よくヨーロッパとか、世界各地ではですね、君主って言ったり色々ありますよね。一般的にですね、言われる王様っていうのはですね、要は戦争で勝った相手の領土をですね、奪い尽くして、人もね散々やっつけてですね、で、王様になるわけですね。これイギリスにしたって、ヨーロッパにしたって、全部そうですね。結局、戦争で勝って土地を奪って王様になっているってことですね。一応、自分の治世というか長く子孫まで栄えるように色んな手を打ったり、あるいはイギリスであればですね、ロシア領とか色んな所と組んでですね、上手い仕組みを作るっていうことがあるわけですね。

だからどっちかっていうと、どっちかといっていうんではなくって本当にそうなんですけど、人間業ですよね。人間の欲望の極致っていうのが、いわゆる王様ですよね。王様の特徴はですね、必ずひっくり返されるんですよね。ある時代はいいんですけども、もっと強いのが王様が現れてやってくるとですね、負けたらもうね、その地位は奪われますよね。いわゆる、ロシアのロマノフ王朝もそうでしたけどね。

今は、ある種の連合というかですね、ひっくり返されないように上手い仕組みを作ってですね、やっているわけなんですけども、そういった王様の世界と比べてどうかというと、もう天皇というのは全然別格なんですよね。

柳田：確かにそうですね。

大野：国の王様でないですから、天の王様ですから。もっと言うと、宇宙の王様と言えるぐらいのものなんですけども。ですから、天皇が誰かに侵略されて代わるってことはないんですよね。

いわゆる、織田信長にしても豊臣秀吉にしても自分が天皇には当然なろうともしないし、それはそれで別に立てたわけですね。ですから別格なわけです。

どう別格かということ、まさに天の王であり、宇宙の王であり、地球の王であるっていうのが本来の天皇でありまして。

エンペラーコード

—人類の帝王学—

～究極の宇宙創造原理「十種神宝」の教えを伝授する～

もちろん、それは歴史によってね、だいぶん役割も変わってきましたけども、ただ本来的にそういう存在であるからこそ、この 2700 年弱ですね、今の天皇制というのが、もう世界でも稀な制度というか存在として未だに続いているっていうことが言えるわけですね。

結局、この天皇とは何かというテーマに関しても、先程のですね、グローバリズムといいますか、色んな日本をダメにしようっていう勢力がありますけども、そこが、いわゆる何て言いましょうか、天皇というものの価値をどんどん下げて日本人に見せるようにしまして、場合によっては天皇というと先程の右翼と繋がったりですね。あれは右翼の団体は殆ど日本人は入っていないんですけども、そういう怪しいのがですね、わざと名を汚すように街宣車でやるわけですね。

(コメント特典の完全版をご覧ください)

柳田：かなりの突っ込んだ、本編で話すような内容で。

大野：ちょっと言い過ぎ。

柳田：いえいえ。でも、ここは正しく日本人としては知っておくべきと。もっと我々が想像するというか、我々が思っているよりは、もっと天皇っていうのは凄いいいか、そんな存在だということですね。そして。

南：「天皇の使命と日本人の遺伝子」。

大野：天皇の役割とか使命については、今お話しした通りですけども、やはり今注目したいのはですね、この日本人の遺伝子ということなんですね。一部こういう世界に詳しい方はご存じだと思いますけども、日本人にはですね、YAP（ヤップ）遺伝子っていうのがあるんですね。YAP 遺伝子っていうのがありまして、これはだいたい成人男性の 30% から 40% ぐらいあるって言われるんですけども、これを持っているのはアジアでは日本人だけなんですね。

中国の方も韓国の方も凄く見た目似ていますが、凄くはないけど似ているわけですが全くないんですね。同じく女性もそういった特殊な日本人の遺伝子を持っています、そういった YAP 遺伝子がど

エンペラーコード

—人類の帝王学—

～究極の宇宙創造原理「十種神宝」の教えを伝授する～

ういう働きがあるかと言うとですね、これが今分かっているところで、まず親切なんですよ、人に対して。

南：もう遺伝子レベルで決まっているんですか。

大野：親切で嘘をつかないってことなんですよ。あと、他人のために自分を犠牲にできるっていう遺伝子なんですね。ですから、その遺伝子の人が例えばですよ。例えがいいか分かりませんが、軍隊となって一団を結成すると滅茶苦茶強いんですよ。

それをですね、YAP と書いてですね、YAP(ヤップ)遺伝子と呼んでいるわけですけども、その遺伝子というのが、実はですね縄文の遺伝子なんですね。実際、一番多いのがアイヌと琉球ですね。そこが一番 YAP 遺伝子が多いと言われていまして。とにかく人に親切に出来て、自分を犠牲に出来るっていうのが、本当に日本人の特徴だと思うんですよ。

それと、いわゆる対極にあるのがですね、利己的遺伝子ってあるんですよ。これはドーキンスっていう西洋のですね学者がちゃんと命名しているんですけども、人間には利己的遺伝子があるって言っているわけですね。だいたい西洋人はそういう感じになるんですけども、日本人もですね、殆ど。今は毒されているんで。

まさにその反対側。利己的遺伝子ではなくて、公の遺伝子と言えるものが、この YAP 遺伝子っていうことが言えまして、この遺伝子は私達が気づいていないだけで発現させようと思いますと、もう1回自分の自らに呼び起こすことができるわけです。それも言霊で出来るんですよ。

(コメント特典の完全版をご覧ください)

大野：そうしますと、その段階でだいたい皆さん運勢がもう変わりますね。

柳田：凄い話しになってきましたけれども、ちょっと喋り過ぎじゃないですか。

大野：ちょっとそうですね。

エンペラーコード

—人類の帝王学—

～究極の宇宙創造原理「十種神宝」の教えを伝授する～

柳田：もう本編のような内容になってきましたけど。なるほど。

大野：そういった意味では、その遺伝子っていうのは科学ですし、神秘じゃなくて遺伝子を清めればよくなるのは当たり前っていうですね。そういうことになるわけですね。

柳田：いやいや、ちょっと突っ込んだ話をして頂きましたけれども、この辺にして頂いて、2つ目のテーマですね、日本人として絶対に知っておくべき真実の日本。あるいは、日本人、天皇というものを学んできました。いよいよ、最後のテーマに行ってみましょう。

南：「人生 100 年時代にサバイバルするには」。

柳田：これね、人生 100 年っていうのはよく言われますけど、最近。サバイバルするにはということで、これ大野さんからの希望でサバイバルというのを使っているんですけども。

南：そうなんですね。

柳田：このテーマですね。まずこちらですね。

南：「2030 年までに 46%の仕事がなくなる」。

大野：今ですね、ご覧になって頂いているスライドはですね、これもちょうど先日行ったアメリカの研究所から持ち帰った物でして、これは日本のっていうかアメリカの方のデータというか情報なんですけども、マッキンゼーっていうですねコンサル会社ありますけども、そこの調べらしいんですが、2030 年までに 8 億の仕事が消えますよと。広い意味で言いますと、仕事の半分弱がですね、もう消えますよと言っています。

じゃあ、消えたところは誰がやっているんですかっていうと、もう全部機械がやっちゃうんですね。それは人工知能であったり、オートメーション化された何かであったりしますけども、そういった時代になってきますと、益々失業者が増えてですね何したらいいのかっていうことになりますが、ただ実はこのときまでに人類がある方向に向かえばですね、逆に仕事をしなくても生きてけるっていう状態にもなるんですよ。

エンペラーコード

—人類の帝王学—

～究極の宇宙創造原理「十種神宝」の教を伝授する～

普通は仕事しないとお金入なくて餓死しますよってことになりますけど、そうじゃない社会が出来た場合には、むしろこれは望ましいことであって、仕事は機械がやってくれて人間は遊んで暮らせるっていう図式も描けるわけです。

ですけど、今そういう分岐点にいますので、私達がどういう心構えでいるかどうかによって、これからの未来の方向性が本当に明るくも暗くもなるっていうことですね。ですが客観的にこうだってことは間違いないと思うんですね。もうはっきり言いまして機械優秀ですから、人に頼むより機械にやらした方が全然ね、スピードも速いし正確だし愚痴も言わないし、変な念も送ってこないっていうか、色々ね。

柳田：確かに。でも、あと10年ちょっとですもんね。でも実際に水面下ではというか、我々もゆつくりの変化だからあれですけど、スマホなんて10年前持っているとも思わないし、パソコンでの仕事とか色んな住む場所に制約されずに仕事したりとか、色々変わってはきていますが、もっと劇的に変わってくる中で、これを踏まえてどう生きるかだと思うんですけども、それは1人1人の心がけにかかってくるということですかね。

大野：そうですね。そこでどういう心がけかということについて、ちょっとお話をしたいと思うんですね。

南：「生き残るライフスキル」。

大野：今、ライフスキルとは書いてありますが、スキルというと何か小手先のような感じになっちゃうんですが、ただこれ人生全般の大事な要素として捉えますと、これはもうはっきり分かっているんですけど、どうあれば生き延びられるかというと。

まずですね真面目だってことなんですね。生真面目だっていうことが、まず1つなんですね。次に等身大だってことですね。要は自分をデカく見せようとかしない。自分のあるがままを出して勝負するっていう。あと、もう1個はですね、人のために動ける自分っていうことですね。

結局、何をここで言いたいかと言いますと、今のこの情報化社会の素晴らしい点はですね、今まで見えなかった悪事をですね、全部暴いてくれているんですよ。

言霊の究極奥義

エンペラーコード

—人類の帝王学—

～究極の宇宙創造原理「十種神宝」の教えを伝授する～

(コメント特典の完全版をご覧ください)

柳田：なるほどですね。そして。

南：「個人がとてつもない力を持つ時代だからこそ、私達は個人の真の力に目覚める必要がある」。

大野：これは個人が力を持つというのは、ネットでの発言力とかですね、ホントに一介の主婦の方がそれこそ YouTube なりネットを通じて自分の意見バーンと出せる時代でありですね、そういった意味での力っていうのは皆さん、いわゆるこれまでのがんじがらめな世界ではなくて、いわゆるいい意味で開かれた中で発揮していると思うわけなんです。

ただやはりそこで大事なことは、たまたま言いたいことを言っているっていうのではなくって、本当の自分の力に目覚めたと仮定しますと、それは個の力がもう本当に百倍、千倍、万倍になるんですね。

(コメント特典の完全版をご覧ください)

柳田：もう言っていましたけれど、こちら。

南：「激動の世の中をサバイバルする奥義と帝王学が日本に残されていた」。

大野：今日ここまでお話したのはまだ帝王学まで入っていないんですね。いわゆる日本人としてのすばらしさというところがメインでしたけども、正にそういった素晴らしい部分というのが、実はただ素晴らしいではなくて。

いわゆる帝王学という観点で言うと、帝王というとちょっと語弊もありますが、他に日本語ないので帝王学になっているんですけども、その世界っていうのは、もうすばらしさどころか、本当に宇宙をコントロールするっていうくらいの中身なんですね。

エンペラーコード

—人類の帝王学—

～究極の宇宙創造原理「十種神宝」の教を伝授する～

ですから技のこの深みっていうんですかね。この個人レベルとはやっぱり全然違うわけですね。公からコントロールするっていうそういう世界でもありますから、やはりこれはすごいものが残っていたんだなと改めて思いますね。

柳田：この教を今回の本編では開示していただけるということですし、なぜこの教が大野さん、あるいは七沢先生のところに残されていたのかというのをまた追い追い聞いていきたいなと思いますけれども。

最後にひとつだけお伺いしたいのは、なぜ今このタイミングでこれほどの叡智というのを公開していただけるようになったのかというところですね。

大野：これも冒頭にお話したかもしれませんが、本当にまずいからですよ。

柳田：まずいと。

大野：みなさんが知らないだけかもしれませんが、本当に日本っていう国は相当狙われていますし、とにかく日本を亡き者にしようってことで元々動いていますから。それがかなり本気出してきたということもありますし、また今度は日本という観点ではなく、全世界ということで見た場合でもですね、本当に終末というか、もう終わりですよ。終わりの時代に今入っているわけですね。ローマ帝国の終わりと同じというか。

柳田：ですから、もちろん本気の人というかあれなんですけど、最初に僕も言いましたけれど。今回の教っていうのは誰でもかかれでもじゃないんですけども。ただ、これやってみようかなって人が一人でも増えることが意味があるということですね。

大野：おっしゃる通り、一人増えれば、その人はこれから先ほどの YAP 遺伝子のスイッチが入った状態と同じことで動きますから、また周りに色んな影響与えるでしょうし、また影響与えられた人が広がっていきますから、ちゃんとやっていただくとすごく嬉しいですよ。

柳田：ということで、ちょっとずいぶん深いところまで最初から話していただきましたけれども、今回の一の巻と呼んでいますが、プレ講座の第一回をまとめるとですね。

エンペラーコード

—人類の帝王学—

～究極の宇宙創造原理「十種神宝」の教を伝授する～

まず激変する世界のところがありましたけれども、まずしっかりと世界情勢を把握しようということ。そして日本という国そして天皇、あるいはわれわれの日本人の遺伝子というところまでも、ちょっと驚きましたけれども、お話をうかがってきました。正しく、神道とか天皇についても、多くの方理解いただけたんじゃないかなと。

そしてその中で、日本人が持つ遺伝子というか使命というか、そういったところにも南さんも気づかれたんじゃないかなと思います。そしてその上でこれからの時代をサバイバルする、まさにサバイバル、本当に時代が変わる、終末論とか言っていましたけれども、そんな時代っていうことを認識をして生きていくためのスキルは何でしたでしょうか？

南：嘘をつかない、等身大で生きる、そして人のために生きる。

柳田：あってますでしょうか？

大野：はい、正解です

柳田：これを使っていたいただいてもいいでしょうか。

大野：使うことになるとは思いませんでしたが。（♪ピンポン）

柳田：南さん、第一関門クリアですよ。

ということで、再び南さん、戻ってきましたね。タイムマシンのようですが、本当にすごい内容でしたね。

南：ですよ。

柳田：本当に、2019年春のときも大反響だったんですけど、ものすごいコメントもいただいてですね、1回目からすごかったんですが、今回、見ている方もぜひコメントをお寄せいただきたいというふうに思います。今回、本当にお時間の都合で、ちょっとカットしてるところがたくさんあるので、大野さんのコメントが気になるっていう、すごくあると思うんですね。そのためにも、ぜひ、コメントをして完全版を受け取っていただきたいというふうに思います。そのコメントはですね、この、皆さんご覧になっている、動画をご覧になっているページのところからコメントできる場所があると思うので、

言霊の究極奥義

エンペラーコード

—人類の帝王学—

～究極の宇宙創造原理「十種神宝」の教えを伝授する～

そちらからお寄せください。そしてですね、コメントいただいた方にはこちらになります。

南 特別収録映像といたしまして、祓い、鎮魂、言霊とはということで、私、南が大野さんにインタビューをさせていただきましたので、そちらの映像特典もぜひ入手していただければと思います。

柳田 こちらも初めて、今回、祓いとか、鎮魂とか、言霊に出会った方もたくさんいると思うんで、その方々のために南さんが大野さんにご質問されたという。これ、ぜひ受け取っていただきたいですね。

南 そうですね。

柳田 そして。

南 壺の巻の完全版です。さっきからすごい映像でしたねって盛り上がっているんですけど、多分、現状、皆さん全部はご覧になってないんですよね。なので、ぜひ、コメントをお寄せいただいて、完全版をご覧いただければと思います。

柳田 これ、完全版どれくらいあるんですか。

南 そうですね。これから若干編集もしますが、約1時間半ぐらいになるんじゃないかと思っています。

柳田 ということでですね。壺の巻から盛りだくさんですが、大野さん、壺の巻を締めていただけますでしょうか。

大野 壺の巻を見ていただきますと、やっぱり日本という国が本当はどういう国なのかっていうこととかですね、あと、自分たちはいかに騙されていて、うその教えに一生懸命なっていたことがお分かりいただけるというか、いただけたかと思うんですね。

柳田 ですね。そして、貳の巻以降にはなりますけれども、現状をしっかりと把握していただいた上でですね、貳の巻はこちらになりますけれども。

南 次回、プレ講義、貳の巻はサバイバルのための武器をあなたに授けよう。和の引き寄せの法則。

柳田 ということで、時代をまずしっかり認識していただいた上で、じゃあそのために、こんな時代に

言霊の究極奥義

エンペラーコード

—人類の帝王学—

～究極の宇宙創造原理「十種神宝」の教えを伝授する～

いかにサバイバルしていくかというですね、武器を皆さんに、私ではなく、南さんでもなく、大野さんから授けていただこうと思っています。第2回もね、すごい大きな反響いただきましたので、これ、ぜひご覧いただきたいというふうに思います。次回ですね、プレ講座式の巻ありますけれども、その先にはですね、プレ講座4本ありますけれども、その先に本講座ということで、こちらになります。

南 言霊の究極奥義、エンペラーコード。宇宙創造原理、十種の神宝の教えを伝授するオンラインプログラムです。

柳田 ということで、こちら、本当にまさに本講座ということで、全てが明かされた講座のですね、オンライン版ということでこちらも皆さんにも公開させていただきます。とにかくすごいとしか言えないんですけども、本当にすごいのでですね、日本人としてこれから生きるですね、意識進化しながら公のために生きたいという方はですね、ぜひ、こちらの本講座、オンラインプログラムのほうもですね、ご検討いただきたいと思います。ということで、第2回でまたお会いしたいと思います。大野さん、南さん、ありがとうございました。

南 ありがとうございました。

大野 ありがとうございました。

柳田 ありがとうございました。

言霊の究極奥義

エンペラーコード

—人類の帝王学—

～究極の宇宙創造原理「十種神宝」の教えを伝授する～

最後までお読みいただき、誠にありがとうございます。

ぜひ、プレ講座壺の巻のご感想をコメント欄にお寄せ下さい。

コメントを頂いた方には…



コメント特典壺

プレ講座壺の巻ノーカット版

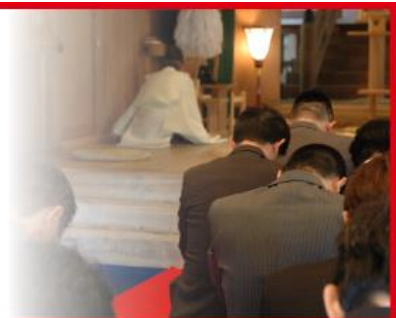
プレ講座壺の巻から秘伝を話しすぎてしまいました……
泣く泣くカットとなった重要部分を全て公開します。



コメント特典式

15分で解る! 祓い・鎮魂・言霊とは?

エンペラーコードの前提知識でもある「祓い・鎮魂・言霊」
本来なら年単位をかけて学ぶ知識を超高密度で
インストールしてください。



をプレゼントいたします!

■コメント、コメント特典のご請求はこちらから

⇒ <https://emperor-code.jp/session/dnpc/>